

令和7年度 後期 ビジネス・キャリア検定試験

経営情報システム分野
3級 経営情報システム

試験問題

(18 ページ)

1. 試験時間 110分

2. 注意事項

- (1) 試験問題は、係員の指示があるまで開かないください。
- (2) 表紙に記載されている試験区分名が、申請している試験区分名と同じか確認してください。申請している試験区分と異なる試験区分を受験した場合は採点できず、不合格となりますので、ご注意ください。なお、試験開始後に申し出られても、試験時間の延長はできません。
- (3) 試験問題は、40題あります。
- (4) 試験問題の配点及び合格基準は、次のとおりです。
(配点) 問題1～問題40 各2.5点 合計100点
(合格基準) 試験全体として概ね60%以上の正答。
- (5) 関係法令、会計基準、JIS等の各種規格等に基づく出題については、問題文中に断りがある場合を除き、令和7年11月1日時点で施行されている内容に基づくものとします。
- (6) マークシートにマークする際には、HB又はBの黒鉛筆で、はっきりとマークしてください。それ以外は使用しないでください。なお、訂正する場合は、採点の際にマークシートの誤読の原因となりますので、きれいに消してください。
- (7) 計算等が必要な場合は、問題用紙の余白を使用してください。
- (8) 問題番号及び問題文に従って正解と思われるものを1つだけ選んで間違えないようにマークしてください。
- (9) 試験問題の内容に関する質問には、一切お答えできません。
- (10) 試験中にトイレへ行きたくなった場合は、黙って手を挙げて係員の指示に従ってください。
- (11) 試験終了時刻前に解答が済み、退出する場合は、黙って手を挙げて係員の指示に従ってください。ただし、試験開始後30分間及び終了前10分間は、退出できません。なお、退出する場合は、周りの受験者に配慮して、静かに退出してください。
- (12) 試験終了の合図があったら速やかに筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。
- (13) 試験終了後、マークシートを必ず提出してください。ただし、試験問題は、持ち帰ることができます。なお、マークシートが提出されていない場合は、失格となります。
- (14) カンニング行為（他の受験者の答案等を見ること・他の受験者に答えを教えること・他者から答えを教わること・指定されたもの以外のものを机の上に置くこと等）、替え玉受験、不正行為と疑われるような紛らわしい態度をとる行為、他の受験者の迷惑となる行為、係員の指示に従わない場合などは、不正行為とみなされます。不正行為とみなされた場合は、直ちに退場となり、当該期に受験する試験区分のすべてが失格となります。
- (15) 試験問題の転載、複製などを固く禁じます。

問題1 情報の性質に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 定量情報は、計測された数値であり、集計や分析が容易である。
- イ. 意味や関係性を推測するための定性情報は、短時間で収集できる。
- ウ. 情報は、伝達や共有などのプロセスを経て、価値を変化させる循環の性質を有している。
- エ. 情報が大量に蓄積される状況が、さらなる蓄積の集積効果を生む場合がある。

問題2 以下の<事例>に基づき、この分析方法や手法に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

<事例>

ある店舗で、会員登録している顧客に関して、インターネットの利用時間と、Webショッピングサイトでの購入人数又は実店舗での購入人数との間に相関関係があるかどうかを調べることにした。アンケートにより、インターネットの利用時間と購入経験の有無を問い、インターネットの利用時間ごとの購入人数を集計し、分析を行った。

- ア. 「インターネットの利用時間」と「Webショッピングサイトでの購入人数」について散布図を作成したところ、プロットされた点が右上がりに分布しており、正の相関が認められたため、インターネットの利用時間が長い顧客は、Webで購入することが多いと判断した。
- イ. 「インターネットの利用時間」と「実店舗での購入人数」について散布図を作成したところ、プロットされた点がほぼ水平に分布しており、負の相関が認められたため、実店舗で購入するかどうかは、インターネットの利用時間とはあまり関係がないと判断した。
- ウ. 「インターネットの利用時間」と「Webショッピングサイトでの購入人数」について折れ線グラフを作成したところ、右上がりの折れ線となっており、正の相関が認められたため、インターネットの利用時間が長い顧客は、Webで購入することが多いと判断した。
- エ. 「インターネットの利用時間」と「実店舗での購入人数」についてヒストグラムを作成したところ、ほぼ水平となっており、負の相関が認められたため、インターネットの利用時間が長いと実店舗で購入することは少ないと判断した。

問題3 データ活用に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 人による間違いを防ぐために、意思決定の条件を全て定式化する。
- イ. データ量による影響を考慮して、統計的な分析結果に対して検定を行う。
- ウ. 欠損値を含んでいるデータベースは、統計処理ができないため破棄する。
- エ. 詳細な分析を行うためには、観測されたデータをそのまま利用する必要がある。

問題4 以下の<事例>に基づき、表の空欄とABC分析を行った結果に関する考察として不適切なものは、次のうちどれか。

<事例>

食料品を扱うA商店では、よく売れる商品を重点的に仕入れの対象とするために、商品の1日当たりの売上高を基に、表計算ソフトウェアを用いてABC分析を行うことにした。分析の手順は次のとおりである。

- I. 分析対象の商品を10個選び、個々の商品の単価と売上数量から売上高を計算する。
- II. 売上高を合計する。
- III. 個々の商品の売上高比率（売上高合計に対する比率）を計算する。
- IV. 売上高比率の高い順に商品を並べ替える。
- V. 累積売上高比率を計算する。
- VI. 累積売上高比率が70%までの商品をAクラス、90%までの商品をBクラス、それ以外をCクラスとする。

この手順により、次の表が出来上がった。

商品名	単価 (円)	売上数量 (個)	売上高 (円)	売上高比率 (%)	累積売上高比率 (%)
お茶	150	600	90,000	30.0	30.0
おにぎり	120	500	60,000	20.0	50.0
幕の内弁当	480	100	48,000	(a)	66.0
サンドウィッチ	240	150	36,000	12.0	(b)
缶コーヒー	120	200	24,000	(c)	86.0
ガム	100	180	18,000	6.0	(d)
アイスクリーム	100	120	12,000	4.0	96.0
菓子パン	150	40	6,000	2.0	98.0
牛乳	100	30	3,000	1.0	99.0
あめ 飴	100	30	3,000	1.0	100.0
合計	—	—	300,000	100.0	—

- ア. (a) は16.0であり、幕の内弁当はAクラスに分類される。
- イ. (b) は78.0であり、サンドウィッチはBクラスに分類される。
- ウ. (c) は8.0であり、缶コーヒーはBクラスに分類される。
- エ. (d) は90.0であり、ガムはCクラスに分類される。

問題5 画像認識技術に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 高度な処理を行うためには、有料のライブラリだけが利用できる。
- イ. マスクを着けた顔は、認識することができない。
- ウ. ポジティブデータを増やし、ネガティブデータを減らすことで認識精度が向上する。
- エ. 白黒グレーの濃淡のみで表現されるグレースケール画像であっても、画像認識が行える。

問題6 コンピュータメディアを利用した教育に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. オンラインでのプログラミング教育で個別指導を受けるのは難しい。
- イ. 対面授業と比べて、双方向のコミュニケーションが取りにくい。
- ウ. 学習計画を立てて、実行、管理できないと学習の進捗が安定しない。
- エ. 日本では、小学生からPCやタブレットによる教育を受ける機会がある。

問題7 電子メールに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 多くのプロバイダーでは、スパムメール対策で「Outbound Port 25 Blocking」、
「submission port (ポート番号587)」、「smtp認証」などが採用されている。
- イ. 電子メールでは、POPやIMAPサーバーに対して、SSL (TLS) を使用することで、通信の暗号化がなされる。
- ウ. 電子メールでは、IMAPを利用することで、異なるクライアントから同じメールを読むことが可能である。この場合、ひとつのクライアントで、新規メールを受信し、既読になっても、他のクライアントでは新規メールとして表示される。
- エ. UTF-8や、画像などのバイナリデータを電子メールで送信する場合は、MIME (Multipurpose Internet Mail Extensions) と呼ばれる書式に従ってメッセージを作成、送信する必要がある。

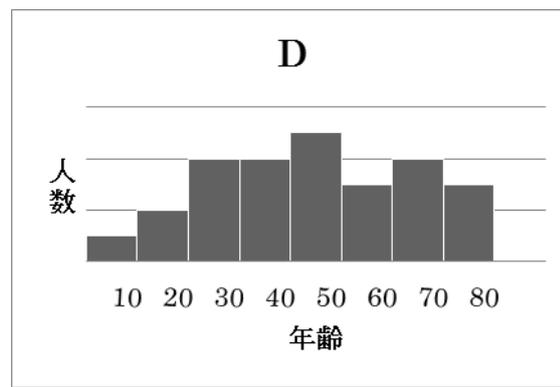
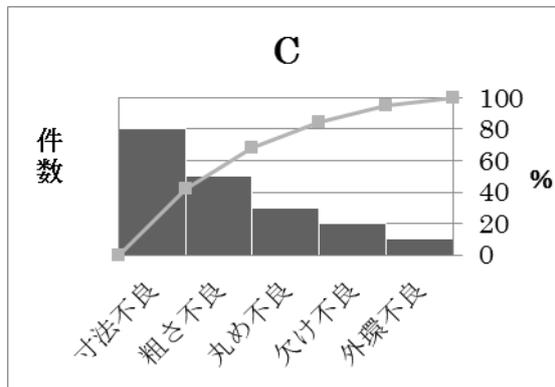
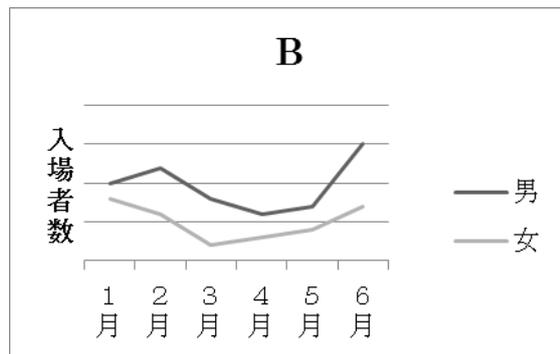
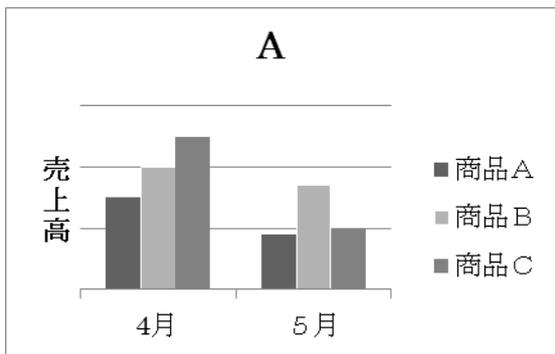
問題8 グループウェアの運用、開発に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. グループウェアを新しいシステムにリプレイスする際に、既存システムの入力画面をそのまま利用することもできる。
- イ. 機能別に異なる提供元のシステムを使う場合は、データ連携のプログラムを利用者が自作しなければならない。
- ウ. メール機能、文書決裁機能、購買機能などの機能ごとにログインすることで、利用時の利便性とセキュリティを両立できる。
- エ. グループウェアの利用をPCに限定することで、情報セキュリティの3要素を実現している。

問題9 マークアップ言語に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. ベクター画像を表現するSVGは、マークアップ言語の応用で作られている。
- イ. HTMLは、一般的な文書作成ソフトウェアでは編集できない。
- ウ. マークアップ言語では、テキストのみを扱い、数値は扱わない。
- エ. マークアップ言語では、分岐や繰り返しなどの制御処理を行える。

問題10 ヒストグラムは、次のうちどれか。



- ア. A
- イ. B
- ウ. C
- エ. D

問題11 ディスプレイに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 解像度は、横・縦のピクセル（画素）数で表示される。
- イ. 解像度の高いものほど、ピクセルの発光量が大きくなる。
- ウ. RGB方式とは、光の3原色である「赤・緑・青」の組合せにより表示する方式のことである。
- エ. フルカラーとは、光の3原色を8ビットずつの組合せで得られる約1,677万色のことである。

問題12 ノートパソコンの補助記憶装置をHDD（Hard Disk Drive）からSSD（Solid State Drive）に交換するメリットとして不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 振動に対する安全性を高くすることができる。
- イ. 電源を入れてからOSが起動するまでの時間を短縮することができる。
- ウ. 複数のOSから選択して起動することができる。
- エ. バッテリーによる駆動時間を長くすることができる。

問題13 以下のコードに関する記述において、(①) ~ (④) に入る数値の組合せとして適切なものは、次のうちどれか。

- (1) 1バイトコードで表現できる文字の種類は、最大(①)である。
- (2) 2バイトコードで表現できる文字の種類は、最大(②)である。
- (3) 16進数の「FE」を10進数で表すと(③)である。
- (4) 2進数の「110101」を16進数で表すと(④)である。

- ア. ① : 256 ② : 65535 ③ : 255 ④ : 65
- イ. ① : 256 ② : 65536 ③ : 254 ④ : 35
- ウ. ① : 255 ② : 65535 ③ : 255 ④ : 53
- エ. ① : 255 ② : 65025 ③ : 256 ④ : 35

問題14 ネットワークに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. ネットワークの接続形態や構成要素のことをトポロジーと呼び、スター型、リング型、ブリッジ型などがある。
- イ. 設置場所が離れているLAN同士を、仮想的にLANとして使うことができる。
- ウ. LAN接続によって、スキャナなどの入力機器の共有ができる。
- エ. グループウェアの活用やナレッジマネジメントシステムの運用なども、ネットワーク利用の対象である。

問題15 機械学習に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. エキスパートシステムは、高度な職人の加工技術をトレースするものであり、3Dプリンタと併せた活用が期待されている。
- イ. 機械学習では、ルールや手順を細かくプログラミングすることで、データからパターンや規則を学習し、その知識を基に予測や判断を行う。
- ウ. 機械学習によって得られる解は、遺伝アルゴリズムなどの方法で計算され、反復的にモデルを修整するため、最適解になるとは限らない。
- エ. ニューラルネットワークでは、生物の骨格を模したモデルを使って計算が行われる。

問題16 IT教育やITリテラシーの問題点に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. パスワード管理、フィッシング詐欺への対応、個人情報保護など、情報セキュリティに関する啓蒙や研修などを行う人材が不足している企業や団体が多い。
- イ. デジタルデバイドは、情報通信技術へのアクセスや利用の格差を指し、社会的な不平等を引き起こす重要な問題である。
- ウ. AI時代に必要である「問いを立てる力（問い力）」や「判断力」の育成方法が確立されていない。
- エ. ネット情報やSNSなどにおける偽情報や有害コンテンツは、表現の自由の観点から排除することはできないため、利用者の判断力や見識に頼らざるを得ないが、そのための教育や啓蒙への取組は十分に進んでいない。

問題17 DX (Digital Transformation) の定義に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 企業がデジタル技術を活用して、競争上の優位性を確立することである。
- イ. 顧客や社会のニーズを基に、ビジネスモデルを変革するものである。
- ウ. 組織や企業の文化、風土を改革していくものである。
- エ. デジタル技術を活用して業務プロセスを改善し、効率化を目指すものである。

問題18 情報化における業務分析に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 業務分析の対象を明確化するために、仮の目的を設定して要求や課題を洗い出し、真の目的を定義する。
- イ. 業務分析で業務の機能を階層化する手法として、DFD (Data Flow Diagram) が使用される。
- ウ. 現状業務を分析することで、現状業務の問題点や要求事項を抽出し、これを明確にすることができる。
- エ. ERP導入時における業務分析では、現状業務の調査、分析をほとんど行わないことがある。

問題19 下記の<項目>は、業務改善の際に行う作業項目をランダムに並べたものである。これを作業すべき順に並び替えた組合せとして適切なものは、次のうちどれか。

<項目>

- (A) 業務の現状を分析し、モデル化して図表等に表現する。
- (B) 収集したデータを分析し、あるべき姿と現状とのギャップを明確にする。
- (C) 洗い出された問題点から業務改善を構想する。
- (D) 現状とあるべき姿のギャップの原因を分析する。
- (E) 現状の業務で使用されているデータや問題等に関する各種情報を収集する。

- ア. (A) → (E) → (D) → (B) → (C)
- イ. (E) → (C) → (B) → (D) → (A)
- ウ. (E) → (A) → (B) → (D) → (C)
- エ. (A) → (D) → (C) → (E) → (B)

問題20 要件定義におけるステークホルダーの役割や位置付けに関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 要件定義におけるステークホルダーの役割は、システムの業務機能要件を提示することであり、非機能要件の提示は役割の範囲外である。
- イ. 要件定義では、全てのステークホルダーから話を聞くことが必要である。
- ウ. ステークホルダーの識別（選定）は、要件定義の承認を得るために行うものなので、要件定義工程の最終段階で行う。
- エ. 要件定義では、要件がどのステークホルダーのものか、どのニーズに対応しているかを追跡できることが重要である。

問題21 システム化計画立案時に考慮すべきリスクと、その対応方法として最も適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 最新技術や発表されたばかりの業務パッケージを採用すると、システムトラブルや予期せぬ障害で業務が止まってしまうことがある。それを避けるため、若干要件不足でも、導入実績やカスタマイズ事例の多いパッケージを選択することとする。
- イ. システム構築の目的や基本方針には、現在の業務や組織の変革を要するものもあり、利害関係者の対立を招くことがある。よって、システム計画時だけでなく開発時にも経営層がプロジェクトに参画することとする。
- ウ. 開発要員のスキル不足によりシステム構築のスケジュールが遅延したり、品質が低いシステムとなってしまうことがある。外部委託の場合は完成責任を問うことが可能なので、計画上はその要員が十分なスキルを発揮するものとして計画する。
- エ. 構築しようとしているシステムの対象業務をよく知らないと、完成したシステムが期待したものと違ってしまふことがある。それを防ぐために、自社の業務をよく知っている既存業者に最初から開発を依頼することとする。

問題22 アジャイル型開発は、ウォーターフォール型開発の欠点を回避するために考案された開発手法であり、基本思想となっているのは、2001年に発表された「アジャイルソフトウェア開発宣言」である。下記はその抜粋であるが、(①) ~ (③) に入る語句の組合せとして適切なものは、次のうちどれか。

＜アジャイルソフトウェア開発宣言（抜粋）＞

- ・プロセスやツールよりも (①) を、
 - ・包括的なドキュメントよりも (②) を、
 - ・契約交渉よりも顧客との協調を、
 - ・計画に従うことよりも (③) を、
- 価値とする。

すなわち、左記のことがらに価値があることを認めながらも、私たちは右記のことがらにより価値をおく。

- | | | | |
|----|--------|------------|----------|
| ア. | ①個人と対話 | ②動くソフトウェア | ③変化への対応 |
| イ. | ①顧客と対話 | ②精緻なドキュメント | ③変化への対応 |
| ウ. | ①個人と対話 | ②精緻なドキュメント | ③顧客満足の追求 |
| エ. | ①顧客と対話 | ②動くソフトウェア | ③顧客満足の追求 |

問題23 スクリプト言語に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

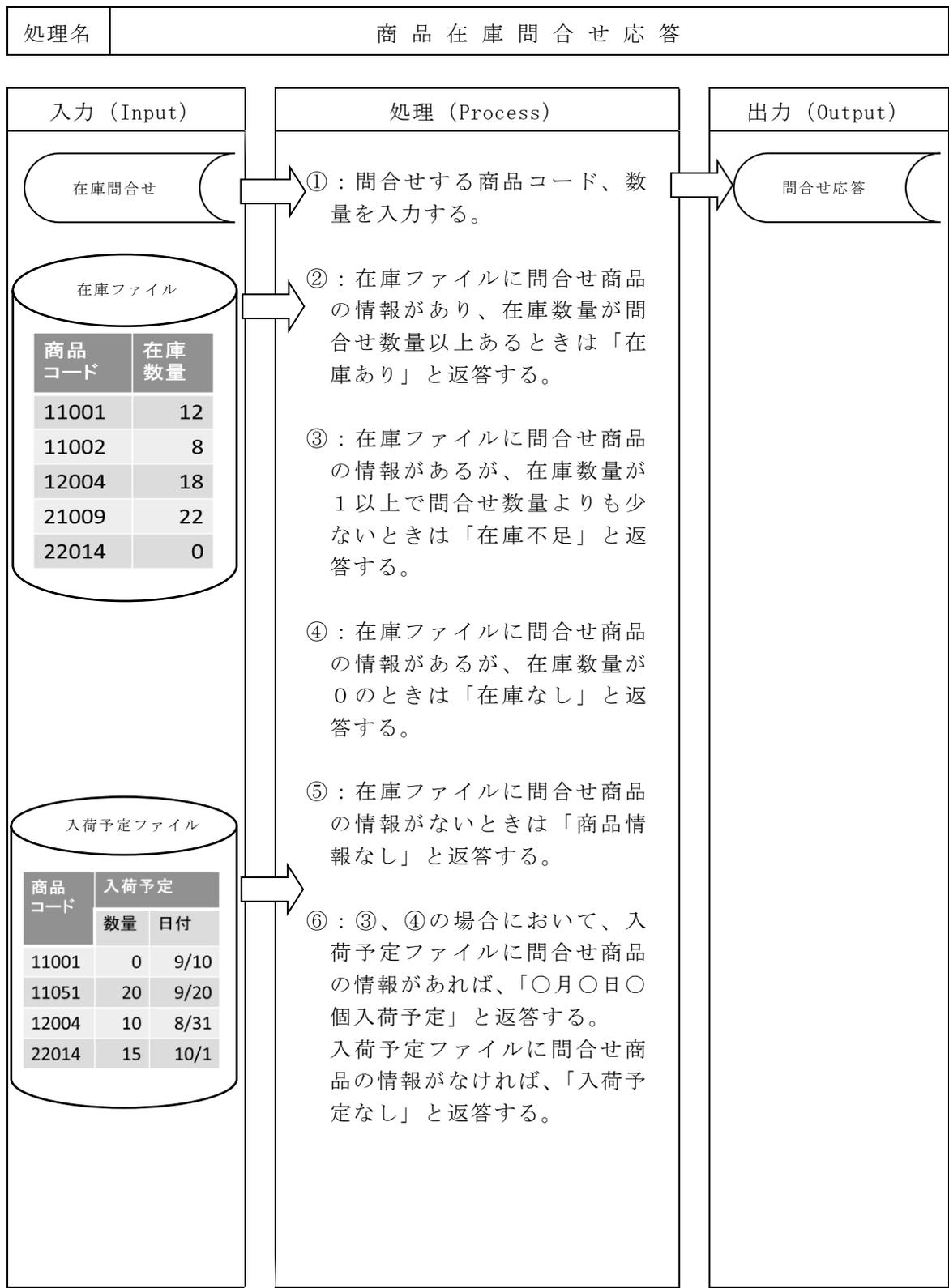
- ア. いわゆるスクリプト言語と、インタプリタ言語は全くの別物である。
- イ. JavaScriptは、Java仮想マシン上のみで動作するスクリプト言語である。
- ウ. Rubyは、習得が難しいが、成果物の実行速度が速いことで知られている。
- エ. Pythonは、A I 関係のライブラリーやフレームワークが充実している。

問題24 コード化技術として知られている「ニーモニックコード」、「ブロックコード」及び「シーケンスコード」の全要素を含んでいるコードとして適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 日本の自動車登録番号（ナンバープレート）
- イ. 日本の郵便番号
- ウ. 日本の旅券番号（パスポート番号）
- エ. 全国銀行協会の定める金融機関番号及び店舗番号

(問題は、次のページに続きます。)

問題25 商品在庫問合せ応答に関する詳細ダイアグラムについて、ファイルに登録されているデータが下図に示す内容である場合、問い合わせた内容と応答画面に表示される内容の組合せとして適切なものは、次のうちどれか。



- ア. 入力：商品コード=11001、数量=12 出力：「在庫あり 入荷予定なし」
- イ. 入力：商品コード=11002、数量=10 出力：「在庫不足 入荷予定なし」
- ウ. 入力：商品コード=12004、数量=14 出力：「在庫あり 8月31日10個入荷予定」
- エ. 入力：商品コード=22014、数量=5 出力：「在庫不足 10月1日15個入荷予定」

問題26 以下の<事例>に基づき、データを抽出するために結合するテーブルの組合せとして適切なものは、次のうちどれか。なお、表2のTはテーブルの意味である。

<事例>

高校生向けの進学塾Aでは、今般、在籍する受講生全員の志望校への最新合否判定状況を一覧表化するために、既存のリレーショナルデータベースのテーブルを結合して、表1のようなデータを抽出することにした。なお、既存のテーブルは5種類あり、その項目及び概要は表2に示されているとおりである。また、既存のテーブルは正規化されているとは限らない。

表1 抽出したいデータ

受講生番号	氏名	学年	在籍コース名	第一志望校・学部名(学科)	第一志望試験実施時期	第一志望校の合否判定	第二志望校・学部(学科)	第二志望試験実施時期	第二志望校の合否判定
-------	----	----	--------	---------------	------------	------------	--------------	------------	------------

※注 模試を一回も受験していない受講生の合否判定は空欄とする。

表2 既存テーブルの概要と項目名

●テーブル名1：受講生基本情報T

概要	受講生全員の基本情報が格納されている。
項目	受講生番号、氏名、自宅住所、連絡先電話番号、学年、所属(出身)高校名、入塾時期

●テーブル名2：受講生志望情報T

概要	受講生全員の志望校に関する最新情報が格納されている。
項目	受講生番号、氏名、学年、在籍コースコード、第一志望校・学部名、第二志望校・学部名

●テーブル名3：模試結果T

概要	月1回実施される模試の成績が蓄積されている。ただし、全員が毎月受験するわけではないので、受験した月の成績のみが格納される。
項目	受講生番号、氏名、学年、模試受験時在籍コース名、模試実施日、素点、偏差値、模試受験時の第一志望校・学部名、模試受験時の第二志望校・学部名

●テーブル名4：合否判定T

概要	各大学・学部(学科)・試験実施時期(前期・後期など)ごとに合格ラインの偏差値を4段階評価(A~D)で格納している。D判定に満たないものはE判定としている。
項目	大学・学部(学科)名、試験実施時期、A判定偏差値、B判定偏差値、C判定偏差値、D判定偏差値

●テーブル名5：在籍コースT

概要	この塾では、「難関校突破」「共通テスト対策」「一般」の3コースを基本として運営されており、受講生はそのいずれかひとつに在籍する(コース変更可能)。
項目	在籍コースコード、在籍コース名、実施科目1、実施科目2、・(中略)・、実施科目10

- ア. 模試結果T、合否判定T
- イ. 受講生基本情報T、模試結果T、合否判定T、在籍コースT
- ウ. 受講生志望情報T、模試結果T、合否判定T、在籍コースT
- エ. 受講生基本情報T、受講生志望情報T、合否判定T、在籍コースT

問題27 費用面から見た業務アプリケーションに関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

- ア. パッケージ利用において、変更を加えるために修正を行った場合には、追加費用なしにはパッケージのバージョンアップはできない。
- イ. アプリケーションシステムを自社開発する場合、開発に関わる費用は、会計処理上全て費用計上し、資産計上できない。
- ウ. クラウドを利用する場合、利用開始後のマシンパワーの増強や容量の追加、利用するアプリケーションシステムの機能追加は、追加費用なしには実施できない。
- エ. オンプレミスの場合、社内でシステムを保有しているため、迅速にトラブル対応やシステム修正などはできるが、長期的にはコストや人員確保などの負担が高まる。

問題28 製造業における見込生産と受注生産に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 見込生産では、あらかじめ生産計画を立てて、生産を開始する。生産計画では、生産に必要な原料や部品の数量から販売数量を予測する。
- イ. 受注生産では、顧客からの注文に基づいて生産を開始し、製品の完成と同時に納品することが多いため、見込生産に比べて、製品の在庫管理の重要性は低い。
- ウ. 個別受注生産では、受注時に全ての仕様が決定するわけではなく、受注後に仕様や図面の変更、客先承認といった作業が発生して納期に影響を及ぼすことがある。
- エ. 見込生産と受注生産では、生産の形態が異なるため、原価の集計の方法も異なる。したがって、原価計算の手法も異なることとなる。

問題29 以下の〈事例〉に基づき、正確な店舗別・商品別の在庫管理のための方策に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

〈事例〉

A社は、カジュアルシューズの小売業である。首都圏を中心に約300店舗を出店し、年中無休で早朝から深夜まで営業している。同社では、次のような現状から店舗別・商品別にタイムリーかつ正確な在庫額を把握できずに問題となっている。

- ①各店舗で本社からの商品の仕入処理と日々の売上処理は、毎日夜10時に、前日夜10時以降から当日夜10時までの仕入れと売上げを一括して計上処理している。
- ②以下のいずれの場合も、各店舗では売上高や仕入高の修正更新処理は行われていない。
 - ・欠品が生じた場合、同一商品が他店舗にあれば、その商品を取り寄せて販売している。
 - ・売れ残り商品やキズもの・型崩れ品は、一旦本社で集め、これをA社直営アウトレット店に送って、特売品として廉価販売している。
 - ・盗難品などの把握確認をしていない。

ア. 店舗間の商品の移転や本社に商品を戻す場合には、必ず仕入高や売上高を在庫管理システムに修正入力する。

イ. 帳簿上の在庫額は、在庫数量に単価を乗じて算定するが、単価は、商品マスタの登録時に設定された単価を適用する。

ウ. 盗難などによる損失額を確定するため、実地棚卸を定期的に行い、店舗別・商品別の実地棚卸額を在庫管理システムに入力する。

エ. 店舗での仕入れと売上処理をタイムリーかつ正確に行うために、バーコードリーダーを導入する。それにより、店舗現場での作業効率も飛躍的に向上する。

問題30 販売業を支える技術に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

ア. モバイルテクノロジーの活用により、営業担当者はリアルタイムで顧客情報や商品の在庫情報にアクセスし注文処理を行うことができ、顧客はリアルタイムで支払処理を行うことができる。

イ. ソーシャルリスニングとは、SNS上で消費者に特定の商品やサービスについて、宣伝と気付かれないように商品を宣伝したり、商品に関するクチコミを発信したりする行為のことをいう。

ウ. SFAやCRMシステムがクラウドパッケージとして提供されているが、基幹システムや複数のECサイト間でのマスタファイルの共有に関する構築・運用の負担が大きく普及の妨げになっている。

エ. インターネットテクノロジーの向上により、様々な広告手法が開発されており、一度自社サイトに訪れたユーザーに対して、別サイトでも自社広告を配信することをリスティング広告という。

問題31 物流システムを支える技術やその今後の動向に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. ICタグは、表面が汚れていても読み取りが可能で、段ボール箱内の製品を外側から一括して読み取ることもできる。
- イ. 物流現場では、AR（Augmented Reality）機能を搭載したウェアラブル端末を使用して、ピッキングリストや検品リストを表示させ、人為的なミスの減少につなげている。
- ウ. ビーコンとカメラによる画像認識機能を持つドローンは、物流困難地域や災害発生時の安全な物資輸送への応用システムとして期待される。
- エ. ハンディスキャナは、データを読み取り、読み取ったデータの確認や表示、保存など必要な処理を行えるよう内部にプログラムが組み込まれている。

問題32 病院及び医療業務を支えるシステムや技術に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 電子カルテの導入により、医療情報の一元管理が実現できるが、その対象は診療記録やレントゲン写真などの画像であり、同意書や紹介状などの紙媒体の資料は含まれない。
- イ. 電子カルテの利用が認められたのと同じ時期に、診療で実施された診療行為や提供された薬剤などの情報を入力して会計処理を行う医事会計システムが利用され始めた。
- ウ. 厚生労働省の「医療DX令和ビジョン2030」において、医療のデジタル化と情報技術の活用による医療サービスの革新を推奨しているが、AIや機械学習の活用は時期尚早として勧めていない。
- エ. 病院内の業務を管理するシステムも企業の情報システムと同様に、高度な管理や連動性を目指して発展している中、情報共有の更なる向上と管理コスト削減のためにクラウド型電子カルテの導入事例が増えている。

問題33 マイナンバー制度及びマイナンバーカード（個人番号カード）に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか

- ア. マイナンバー制度は、デジタル社会の基盤として、国民の利便性向上と行政の効率化をあわせて進め、より公平・公正な社会を実現するためのインフラである。
- イ. 2016年以降、規模の大小に関わらず、全ての事業者は、社会保障や税の手續においてマイナンバー制度に対応することが義務付けられている。
- ウ. マイナンバーカードは、日本国籍以外の人には取得できないが、日本国籍の人は、無償で取得できる顔写真付身分証明書として活用できる。
- エ. マイナンバーカードは、健康保険証として利用可能であり、就職や転勤、引っ越しをした時など、健康保険の切替え手續中でも受診に際し利用ができる。

問題34 高い稼働率が求められることから高信頼性対策としてコールドスタンバイや運用・監視体制の整備を実施している情報システムがある。この情報システムについて業務の要求や過去の稼働実績、費用対効果から情報システムの稼働率の目標を99.99%以上と設定したとき、目標として設定する1年(365日)間の停止時間として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 31秒以内
- イ. 5分以内
- ウ. 52分以内
- エ. 8時間45分以内

問題35 ITサービスのサービスレベルに関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

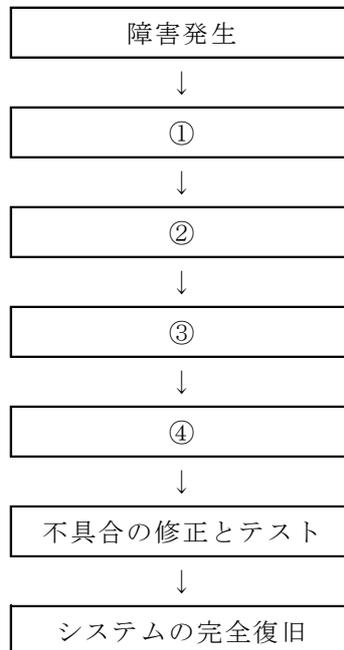
- ア. SLAに法的な拘束力を持たせることはできない。
- イ. SaaSの選定では、ITサービスレベルの達成に必要な全ての資源を自ら保有するサービス事業者を選ぶことが望ましい。
- ウ. SLAには、サービス提供事業者がサービスレベルを達成できなかったときの対応も記載する。
- エ. サービス提供事業者の提供するサービスの価格帯ごとに、サービス内容や品質などのサービスレベルを記載したサービスのメニューをSLMと呼ぶ。

問題36 情報システムで用意する特権IDに関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 特権IDの使用に関しては、あらかじめ管理者の承認を得る手順を用意する。
- イ. 特権IDを使用した操作であっても、ログに記録する。
- ウ. 特権IDであっても、権限は役割や機能を遂行するために必要最低限に絞る。
- エ. 特権IDは、管理担当メンバーの人数に関わらずひとつだけ用意し、セキュリティを確保する。

問題37 下図は、障害発生時の対応手順を示したものである。①～④に当てはまる語句の組合せとして適切なものは、次のうちどれか。

<図>



- a : 根本原因の調査
- b : 障害部分の切り離し
- c : システムの縮退運用
- d : 不具合箇所の特定

- ア. ① : d ② : a ③ : b ④ : c
- イ. ① : d ② : b ③ : c ④ : a
- ウ. ① : a ② : d ③ : b ④ : c
- エ. ① : b ② : a ③ : c ④ : d

問題38 情報システムの障害発生を迅速に発見するための手段や手法に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. サーバーのログを監視ソフトウェアで監視し、異常があったときに運用管理部門に設置した警告灯を点灯させる。
- イ. 処理に異常が発生した場合に、メッセージを画面に表示するようシステム機能を設ける。
- ウ. プログラムの実行中に異常が検知された場合、異常が発生した命令文やデータなどの詳細な情報を記録する機能をプログラムに組み込む。
- エ. 利用者が障害や障害の兆候を発見したときの連絡方法について、手順書を作成し周知する。

問題39 情報システムのキャパシティとパフォーマンス管理の主な目的に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 現在及び将来の情報システムのリソースへの要求に対応すること。
- イ. 情報システムのインシデントを迅速に復旧し、可用性を確保すること。
- ウ. 情報システムの変更を管理し、稼働への影響を最小限にすること。
- エ. IT資源の利用を記録し、利用者の利用量に応じた課金を行うこと。

問題40 情報セキュリティ対策における物理的管理策として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 自然災害などによる設備の被害に備え、情報システム安全対策基準（平成9年通商産業省告示第536号）を参照し、対策を検討・実施する。
- イ. 電力供給の停止には、無停電電源装置を設置し、システム構成機器を設置した部屋の照明や空調の給電能力を確保する。
- ウ. 外部者による不法侵入や盗難、破壊活動などに備え、重要なサーバーが設置されている施設においては、「許可された社員のみが、入口で必ず本人確認のチェックを受け施設に入ることができる」といった厳重な入退室管理の環境や規則を整える。
- エ. サーバーを設置している施設・設備がトラブルで利用できなくなった場合に備え、サーバーを設置している施設・設備とは別に、地理的に離れた場所にバックアップ用のサーバーなどを用意し、バックアップファイルを保管する。